

患者さまへ

S 状結腸憩室炎による結腸膀胱瘻に対する腹腔鏡下手術の治療成績

この研究は 通常の診療で得られた記録を使って行われます。
このような研究は国が定めた指針に基づき実施されます。研究の対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開し、同意頂けない方には、その旨の連絡を頂く問合せ先を明示することが必要とされています。
なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	当院において 2020 年 4 月～2025 年 3 月の期間で S 状結腸憩室炎に対して腹腔鏡下手術を行った症例を対象とします。 ただし、癒着のため術中に開腹手術に移行となった症例は除外します。
2 研究目的・方法	S 状結腸憩室炎に伴う結腸膀胱瘻は、食生活の欧米化や高齢化に伴う大腸憩室保有率の増加に伴い増えている。瘻孔部の自然閉鎖は困難で、基本的には手術が第一選択となる。近年、腹腔鏡下手術の報告が増加しているが、炎症波及や線維化により手術難易度は高く、治療の手順や膀胱壁の修復方法、術後の膀胱カテーテル留置期間など確立された見解はない。 今回の研究では、当院にて S 状結腸憩室炎による結腸膀胱瘻に対し腹腔鏡下手術を行った症例を振り返り、その治療成績などの実態を調査・検討する。 研究の方法は通常の治療より得られた医療情報（既存情報）のみを調査する観察研究で、当院のみで実施します。 研究の期間は、施設院長許可後～2026 年 4 月末日までを予定しています。
3 研究に用いる情報の種類	[収集する情報] ・研究対象者背景：性別、年齢、初発症状 ・手術情報：術式、手術時間、出血量、切除部位、回腸瘻造設有無 ・その他：術前検査結果、術後在院日数、術後膀胱カテーテル抜去までに要する日数、術後合併症 [情報の保管・廃棄方法] 収集した情報は研究責任者のもと保管します。 保管期間が過ぎた後は当院の手順に従い、個人情報に注意して破棄します。 保管期間：2031 年 4 月末日まで（研究の終了より 5 年間）を予定

4 情報を収集する 開始予定日	2025 年 9 月 22 日より
5 研究実施体制	[研究責任者] 岸和田徳洲会病院 外科 医師 北野 友里絵
6 お問い合わせ先	本研究への情報利用を拒否したい場合や、その他 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 また、ご希望があれば他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 [照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先] ・研究責任者：岸和田徳洲会病院 外科 医師 北野 友里絵 〒596-0042 大阪府岸和田市加守町4丁目27-1 072-445-9915（代表） または 岸和田徳洲会病院 臨床試験センター 〒596-0042 大阪府岸和田市加守町4丁目27-1 072-445-9915（代表）

2025 年 9 月 4 日作成（第 1.0 版）